

5部

オンデマンド・
スクーリングのご案内



在宅で受講可能な「オンデマンド・スクーリング」を下記の科目について、実施いたします。※同一期に複数科目の申込みができます。

●今回申込みを募る科目＝オンデマンド・スクーリング 4～6期

期	(注1)			科目名	申込締切	受講開始	受講料 納入締切	スクーリング 試験締切 (正午) (注2)	S単位	
	～ 20	21 ～ 23	24 ～						S単位	受講料
4	共通基礎			社会福祉学入門 (社会福祉の基礎)	5/15	5/26	6/5	6/24	1	5,000円
		★	■	福祉行財政と福祉計画					1	5,000円
	◆			福祉計画法(旧カリ)					1	5,000円
	心理系			学習心理学					1	5,000円
	心理系			人格心理学					2	10,000円
5	◆	★	■	社会福祉原論 (職業指導を含む)	5/29	6/9	6/19	7/1	2	10,000円
		★	■	福祉経営論					1	5,000円
	◆			福祉施設管理論(旧カリ)					1	5,000円
		★	■	社会福祉援助技術論B					2	10,000円
	心理系			心理学概論(注3)					1	7,000円
6	心理系			特講・福祉心理学II (受容と排斥の心理学)	6/12	6/23	7/3	7/22	1	7,000円
	心理系			環境心理学					1	5,000円
		★	■	社会調査の基礎					1	5,000円
	◆			社会福祉援助技術論II (旧カリ)					2	10,000円
	心理系			生涯発達心理学					1	5,000円
	★	■	介護概論(注3)			8/5	1	5,000円		

(注1) ◆＝平成14～20年度入学者 ★＝平成21～23年度入学者

■＝平成24年度以降入学者向け科目

(注2) スクーリング試験受理連絡は、スクーリング試験をご提出いただいたメールアドレスに返信いたします。

(注3) 平成27年度配本の教科書を使用している科目。必要に応じて資料配布します。

※ 受講期間中はこまめにメールをチェックしてください(必要事項は

メールでご連絡します)。

※ 申込締切日以降に受付手続きを行います。受講申込者は下記のことを確認ください。

【重要】

オンデマンド・スクーリングでは、申込みからスクーリング試験提出まで、パソコンを使用して行っていただきます。

申込み・受講・単位修得方法や「TFUオンデマンド」使用方法是『学習の手引き2012-2016版』10章に記載がございます(2011年度以前入学者はホームページまたはmBookより参照してください)。必ずご理解いただいた上で受講申込みを行ってください。

送付・連絡物	通知方法	留意点
受講料納入 依頼書	郵送	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
試験要領	「TFUオンデマンド」上から自身でダウンロード (受講開始日以降可能)	郵送はいたしません。受講科目のコンテンツ内より自身でダウンロードし、必ず内容(スクーリング試験課題や留意事項等)を確認してから受講してください。
講義資料 (資料のある科目のみ)	郵送(一部科目は自身でダウンロード)	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
視聴開始連絡	「TFUオンデマンド」上の「お知らせ」および一括送信メール	受講開始日までに届くことをご確認ください(メールが届いていない方はご自身の受信設定をご確認ください)。

スクーリング・アンケートより(4)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●心理学研究法Ⅱ 木村先生 白井先生 平川先生 柴田先生

2016. 3 / 5～6 仙台

- ・レポートを書いている時などは、あまり理解できていなかった部分が、先生の授業を受けたことで理解できるようになった。
- ・説明が的確でとても分かりやすかった。
- ・例え話が多く、具体的にイメージでき分かりやすかった。

●カウンセリング演習Ⅱ 菊住彰先生 2016. 3 / 12～13 仙台

- ・グループごとに実践しながら授業を進めていただいたことが、より理解しやすく頭の中に入ってきました。
- ・グループに分かれて相互に感じ合うことで、カウンセラーが実際に行うにあたって必要な視点を知ることができた。先生の助言で場面を想像しながら行うことができ、理解が深まった。
- ・人の話を聴くとは、どのようにしていけば良いのか考えることができた。どうしても自分の意見を話してしまうため、注意していかなければならないと思った。
- ・カウンセリングという意識で相談を受けるということは、たくさんの技法が必要であるということが体感できた。自分の意見や価値観の押しつけにならないように気をつけるということが自分にとってプレッシャーになることに気づいた。

●精神科リハビリテーション学 八巻幹夫先生 2016. 3 / 19～21 仙台

- ・精神保健福祉士になりたいと漠然と考えていたが、人の人生に深くかかわっていき、そして方向性を一緒に考え実践していくのだと思うと、責任のある資格者なのだと気づき考えさせられました。
- ・科目の内容について教科書に書かれていることだけではなく、先生のこれまでの体験されてきた精神保健福祉（精神医療）の歴史、経緯から分かりやすい言葉で教えていただいたことが良かった。より深い学びができました。
- ・精神看護でも早期からのリハビリテーションの必要性や地域リハビリテーションについて学びましたが、福祉の視点からのリハビリについて明らかになり、学びを深めることができました。看護も患者さんの生活を見ますが、そこには健康上、療養上の視点が中心です。福祉の視点ではトータルな生活、生き方をサポートするという点で違いが分かり学びとなりました。